

波紋



Ripple

2014年
12月

創刊
1985年(昭和60年)7月

No. 354号



永年会

毎年恒例の永年会、今年も終わりに近づき皆さんで親睦を深めながら日頃の疲れを天然温泉で癒してきました。今回お世話になった宿は「岐阜県鬼岩温泉 了山」森に囲まれた癒しの宿はマイナスイオンを存分に浴びりフレッシュできました。

永年会 幹事西垣



さる10月27日、2014PVCiデザインアワード表彰式が行われました。弊社からは入賞が1件、また優秀賞と入賞作品の作成を各1件お手伝いさせていただきました。応募件数を重視した昨年とは異なり、厳選した作品を応募した結果受賞することが出来ました。とはいえ他の受賞作品を見てみると、やはりプロのデザイナーさんの発想の鋭さは大変勉強になります。弊社の応募作品の一部は社外のプロのデザイナーの方にも協力して頂きましたが、応募時に提出する作品説明の画像や文言を記入したエントリーシートでは画像をポイントに目が向くような短く簡潔なコピー、特徴を一言で表現するような短く簡潔なコピー、も作品の価値を高めるのに大きな役割を担っていることが理解出来ました。今後は入賞・落選に限らず、自社の応募作品を応用し商品として展開し、お客様に「これ欲しいね!」との言葉が頂けるよう拡販活動して参ります。昨年のアワードでも私自身が感じましたが、改めてアイデアを形にする加工技術だけでなく、作品の良さを一瞬で伝えるような、わかりやすい作品の見せ方も重要だと感じます。特に多数の応募作品の中には、アイデアが似通ったものが並ぶこともありましたが、その中から選別されるためには「瞬間的に」その良さを伝えることが出来るのも「これ欲しいね!」と思わせるための技術です。またこのような見せ方を磨くことで実際の販促活動、例えば展示会のPOPやウェブサイトに商品紹介ページ、また対面での商品提案でも同様に応用できます。お客様の求めている物をズバリを提供することが出来るのが重要な役割です。逆にこれまでに無い、「これ欲しいね!」と思わせるような商品の提案、また見せ方が出来ることで新たなチャンスとなるでしょう。

『PVCiデザインアワードと今後』

社長 森 直樹



三嶋大社

牧野 光昌 (企画営業部)



今年4月に娘夫婦が引っ越しをした。引越し先は静岡県三島市。家の窓から富士山が見えるという羨ましい環境で、富士サファリパークや御殿場アウトレットまで30分足らずで行ける。三島市は海には面していないが、沼津港も近いので海鮮の食材も豊富で、特にトロサバの干物は絶品である。おかげさまで過去には全く縁の無かった三島市に随分と通わせて頂きました。その三島市を舞台にしたドラマが今秋の日曜劇場の「ごめんね青春」というローカル情緒たっぷりな青春ドラマである。内容はともかくとして、初回に『三嶋大社の夏祭り』の映像が現れた時、見覚えのある光景に思わず見入ってしまった。その後ローカルさを保ったまま、盛り上がりもないままドラマは進行している。三嶋大社は伊豆国の一宮であり総社である歴史的にも奈良時代の文献にも存在が記されいるという由緒ある神社です。 <http://www.mitsumataisha.or.jp/> その三嶋大社の夏祭りは「手筒花火」「浦安舞」「武田流流鏑馬」「頼朝公の旗挙げ行列」「梯子のり」「農兵節」「みしまサンバ」などと多彩であるが、最大の見せ場は各町内持ち回りの「山車の引き回し」とその山車台上で囃す「シャギリ」と大鳥居玉垣前に設置した特設の壇上で行う「子供シャギリ」である。その迫力は互いに響き合い、大鳥居前のさほど広くない旧東海道の街並みに反響して、現場でみるとやたらにすごい。思わず、その空間に今居ることが、現実なのか夢なのか分からなくなるような不思議な時間を感じてしまった。ちなみに「シャギリ」とはお囃子のことである。 <http://www.youtube.com/watch?v=5H-KnhJajJY> 日本にはいろんな祭りがあるが、本当にこのようなすばらしい伝統を継承していくことが大切な事だと思ふ。祭りの中心に子供たちが参加していることは伝統継承には一番いいと思う。来年も是非行きたいと思つています。ちなみに三島市には鰻屋とコロッケ屋がやたらと多い。うなぎはとにかくうまい。コロッケは『みしまコロッケ』としてB級グルメブームに乗せたいようであるが、他にもうまいものがたくさんあるからいいじゃないの、という気がするが、「ごめんね青春」に登場した『みしまコロッケパン』が全国のローソンで発売されたらしい。相変わらずテレビの影響は強い!!

スピーカーを作ってみた

加藤 雅昭 (営業部)



会長より森松展で塩ビ管スピーカーを作ってみようという提案を受けて作ることに。オーディオ関係は好きで音楽を聴くのも大好きなので、では作ってみようと思ふ本などを読み出す。やはりシングルより2ウェイのほうがいいかなと思ひ進めてみるが、肝心の塩ビ管のサイズ、またキャップやエルボーの組み合わせが思ったより大変。スピーカーのエンクロージャー容量等も考えると結構面倒だ。とりあえず扱いやす物がいいなと思つていたときに雑誌ステレオの付録でつくスピーカーを使用することにしてみる。ネットワークコンデンサーも付属されており周波数割の計算しなくても大丈夫!ん、これなら大丈夫・・・と進めてみるが、塩ビ管のカット、穴あけ等はじめてのことばかりで思ったように進まない。特に穴あけ、ハンディドリルの先に穴の径を変更できる刃先を購入、これで簡単!と思いきやこれもなかなかうまくいかない。ネットには表面を少し削る要領でとか書いているが塩ビキャップはなかなかツワモノ、手がしびれてきます。なんやかんやで部品完成いざ組み立て終わり音を出してみるとデジタルアンプを使用したこともあるが妙に音が硬く、反響しているように聞こえる。バスレフ型(エアダクト付)にしたのもう少し低音が響くかと思つたが・・・反響をある程度防ぐために2ウェイの不織布を管の内側に巻いてみる。ある程度変な反響音はなくなり、なおかつ上の音も出ている。お、持ったよりいいじゃない!確かに音の奥域や広がり、分解はいまいちかも知れないがこれで十分か?確かに塩ビ管パイプに派手な人の気持ちが変わってくる。もう少しジョイントの硬度を上げてみたり、バスレフの形状、ネットワークを変更すると変わるんだろうな。アンプも球のアンプにしてなどと考えてみるが、とりあえず現状で進めよう。そしてもう一台。今度は森松展正面のメニューメントになるような大きさのもの。今回はシングルスピーカーで形状に凝ってみる。今回は管の裁断、穴あけも慣れてきておりいい感じ、しかし今度は色を塗ろうと思つておりスプレーでやれば簡単ジャンと思つていたが・・・これが大きな間違い。平面でなくパイプにスプレーし均一に色を出すのは思ったより大変でした。今回はシングルの為ネットワーク無し直結、口径が20mmというところもあるのか前回の80mmの口径とは音の深さがぜんぜん違う。これはこれでありかな?と思わせる。自宅のスピーカーとはやはり違うが十分ありだな。これも細部をいじつてやるときともっといい音が出るんだろうな。もっと時間のあるときいろいろ調整して組み立ててみたくなる今回の初めての塩ビ管スピーカーづくりでした。今回のスピーカーはまだ弓に設置してありますので興味のある方はお越しください。音だしさせていただきます。



ユウキ

阿部 かおる(特販部)



五体満足で生まれてくる。そう思っていた私のところに感音性難聴という障害を持って生まれてきました。二歳になってもアーアーと言うばかりで言葉を話すことができず…。その後この障害が発覚。小さな体に大きな補聴器をつけて三歳から耳に障害を持つ子供たちが通う聾学校へ2年間通いました。幸い聾でもまだまだ軽い方だったので、一日一日どんな言葉を吸収していききました。家中には物の名前・挨拶・色・曜日などあらゆるものを紙に書いて貼ってありました。おはよう・いただきます・ありがとうなど、その場できちつと言えるまで何度も繰り返し毎日でした。この子が言葉を話すことができるようにと、2年間毎日片道1時間の道のりを1日も休まず皆勤賞。私の今までの人生で一番一生懸命だった時期だと思います。障害手帳を申請するとき、「ユウキに障害がある。」という事実を受け入れることがとても怖くて悩みました。五歳になり1年間地元の幼稚園へ通いました。みんな親切で友達がいっぱいできました。この1年で随分言葉も心も成長しました。学芸会でみんなと一緒に踊っている姿を見たときは感動して号泣してしまいました。翌年に地元の小学校へ入学。自己紹介のときでした。「あべゆうきです。僕は耳が聞こえないので大きな声で話してください。」衝撃でした。この子とはとくに自分の現実を受け入れていたんだと思いきらされました。親の私がこの障害に一番偏見を持っていたのです。本当に恥ずかしくなりました。そんな自己紹介から始まり6年間、中学の3年間。たくさんの人に恵まれ助けられながらももうすぐ二十五歳になります。明るい性格で人とのコミュニケーションは上手にできています。思っていました。障害を持つていることよってつらいこともあると先日初めて彼の口から聞きました。心無い言葉を投げつけてくる人も確かにいます。私たち家族は、ユウキのおかげでこの障害だけではなく、いろんな障害に対する理解をすることができました。自分たちが五体満足であることに感謝をすることができました。今ももう偏見はありません。現在は離れて暮らしてたまにしか会うこともありませんが、元気でいてくれればいいと思っています。ちなみに、性格は明るいのですが、私に似てかなりいい加減なところがたまにきずです。

AUTO LEGEND 2014

大橋 康成(配送部)



ポトメセなごや(名古屋港金城ふ頭)で行われる車のイベントは、毎回行くようにしています。9月20日(土)から22日(日)の2日間で「AUTO LEGEND 2014」が開催されました。旧車&インポートカーとアーティストのコラボがあり、年に一度の車の祭典です。2010年から開催されており、普段はなかなか見れない旧車やインポートカーの展示や、イベントがあり、アーティストでは、クルス・横浜銀蠅と言うアーティストのライブもありB級グルメの屋台もたくさん出ていました。屋外特設会場では、会場で響き渡る爆音ドラックレースカーの爆音は何とも言えない音を響かせており、エンジンは、排気量8000ccのエンジン音が体感が出来ました。また、スーパーカーのサウンドも凄かったです。フェラーリ・ランボルギーニ・ポルシェを始めとする高級車の代表格を筆頭に年代別のサウンド音を響かせていました。他にもエンジンのパワーチェックコーナーでは、スーパーカーから旧車、チューニングショップ自慢のデモカーが馬力測定台に乗り馬力の測定をしてました。屋内会場では、旧車・スーパーカーが200台以上展示されており、ものすごい迫力と人の多さでした。また、映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」に登場した、イムマシシ「デロリアン」も展示されてました。今回は、これは!と言う旧車も無くアーティストが来ると言う事で入場料金が、高かったです。



12月の予定

2日(火) 円道陽子さん誕生日

6日(土) 第1土曜日休み

12月13日(土)

第34回家族忘年会開催
会場…中日パレスビル5F
時間…11時30分～13時30分

19日(金) 森松産業棚卸

20日(土) 第3土曜休み

23日(火) 天皇誕生日

24日(水) CS会議 14時10分～

生産会議 12時～

27日(土) 御用納め

森松株式会社のオリジナルキャラクター
守り隊の『マモーリン』誕生しました!



このたびLINEスタンプデビュー☆
全40種類100円で販売しています!
いますぐクリックしてね!



森松株式会社 社内報

No: 354 平成26年11月27日

編集者

大石耕平 小原龍一 伊東義弥
森 大輔 柳原 瞬 小坂美香



モーリング 年間カレンダー

2015年1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2015年2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

2015年3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2015年4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2015年5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2015年6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				